

令和7年7月18日

世羅町長 様

申請者

団体住所 世羅町別迫1960

団体名 週末小規模就農生活を楽しむ隊

代表者氏名 岸 浩 伸

令和8年度世羅町元気な地域づくり応援事業プロジェクト認定申請書

つぎのとおり世羅町元気な地域づくり応援事業のプロジェクト認定を受けたいので、世羅町元気な地域づくり応援事業補助金交付要綱第5条第1項の規定により、関係書類を添えて申請します。

1. プロジェクト名称

自分達が食べる「安全なお米」を作ってみよう！

2. 補助対象事業費

200,000円

3. 目標金額（補助金交付希望額）

200,000円

4. 成立金額（事業の実施に最低限必要な補助金額）

100,000円

5. 添付書類

- (1) 事業計画及び収支予算書
- (2) 団体の規約又は定款
- (3) 事業位置図・事業実施場所写真
- (4) 団体の構成員名簿
- (5) 団体の決算書・総会資料
- (6) 見積書（又は設計書）
- (7) 図面

次の点について了解のうえ申請してください。了解された場合は☑してください。

☑この認定申請は、プロジェクトの実施を希望する年度の前年度に行うものです。

認定申請と同一年度にプロジェクトを実施することはできません。

☑年度はプロジェクト実施年度を記入してください。

☑この認定申請書等は、ふるさと納税の募集等のため、世羅町ホームページに公開します。

事業計画及び収支予算書

1. 申請団体の概要

①団体名	週末小規模就農生活を楽しむ隊		
☒ 団体の規約又は定款を添付してください。			
②団体の代表者	岸 浩伸		
③代表者住所、連絡先	事務局連絡先(送付先) *連絡先等が異なる場合には記載してください		
事務局連絡先(送付先)			
☒ 代表者及び事務局の住所・連絡先は公開しません。黒塗りとします。			
④設立(発足)年月	令和6年7月1日		
⑤構成員	会員数	5名	うち町民
	スタッフ	名	3名
☒ 構成員名簿を添付してください。(構成員名簿は公開しません。)			
☒ 5人以上で構成される団体が補助対象団体となります。			
☒ 町内に住所を有する者が構成員(会員)に複数名必要です。			
⑥設立目的・趣旨	過疎化・高齢化が進み、耕作放棄地が増えつつある播反地区において、安全な食に関心ある都市部の家族等呼び込み、田植えから収穫までの年間を通じた農業体験を企画・運営し、関係人口の増加を図ると共に、週末小規模就農生活に興味を持つ家族等を獲得して、活気ある地域づくりに資する。		
⑦主な活動分野 (特定非営利活動分野から3つ以内でチェックを入れてください)	☐ ①保健・医療・福祉 ☐ ②社会教育 ☒ ③まちづくり ☐ ④文化・芸術・スポーツ ☒ ⑤環境保全 ☐ ⑥災害救援 ☐ ⑦地域安全 ☐ ⑧人権・平和 ☐ ⑨国際協力 ☐ ⑩男女共同参画社会 ☒ ⑪子ども健全育成 ☐ ⑫情報化社会 ☐ ⑬科学技術 ☐ ⑭経済活動 ☐ ⑮職業能力開発・雇用機会拡充 ☐ ⑯消費者保護 ☐ ⑰その他()		
⑧過去1～2ヵ年の主な活動実績、年間事業規模、今後の取組み予定	(一昨年度)農薬散布をしない安心なお米を個人販売する米農家として、田植え、稲刈り、餅つき等の農業体験を企画・運営し、コロナ禍も終焉した一昨年は、延べ200名を超える来園を得た。		
	(昨年度)上記農業体験等の企画を継続しながら、仲間と「週末小規模就農生活を楽しむ隊」を結成、世羅町が募集した企画に「みんなで、もち米を植えてお餅つきしよう!」として応募・承認を受け、事業成立も得た。 併せて、次のステップとなる「自分達が食べる安全なお米を実際に作ってみたい」と思う家族等を試行として募集した。		

	(今年度) 5月10日、除草剤も農薬も使用しない減化学・有機肥料の圃場での田植えは、幼児を含めて28名の参加を得て賑やかに開催できた。田植え後、数回にわたり参加者による除草を行い圃場内の雑草も抑制され7月中旬には出穂、9月上旬の稲刈りが楽しみな状態である。 更に、自分たちが食べるお米を作りたいと希望する2組の家族等がそれぞれの圃場で稲作に挑戦中で、除草剤不使用、農薬散布無しでどれほどの収量を得ることが出来るか、次年度の企画として実績を踏まえて検証している。 (今後の取組み) 目指すのは週末小規模就農生活を楽しむ家族等の獲得。「みんなで、もち米を植えてお餅つきしよう!」の企画は継続しつつ、この体験をもとに、希望される家族等に、一反程度の小さな田圃で大型機械等を使用せず、自分達で安全なお米が作れる企画を案内し、参加して頂くことで、一過性のイベントで終わらず、週末の小規模な就農生活を年間通じて継続できる本企画を、8年度企画として申請した。 更に、近傍の空き家を借受け、休憩等何時でも軽易に利用できる施設として修繕し、企画参加者の定着化を図りたい。
☒新型コロナウイルス感染症の影響により、過去2年間の主な活動実績がない場合、過去5年以内の主な活動実績などを記載してください。	

2. 事業計画

①プロジェクト名称	自分達が食べる「安全なお米」を作ってみよう！									
☒ プロジェクト名称はふるさと納税等を募集する際にも使用するため、簡潔で分かりやすい名称としてください。										
②このプロジェクトに取り組む理由	「元気な播反づくり作戦」の中の第二段企画 ● 第一段（本年度実施中の企画）：小さな圃場で田植えから稲刈り、更に年末の餅つきまで、お米作りに係る作業を各種イベントとして案内し、小規模な米作り等の体験をして頂く中で、地域住民と交流し、就農に対するハードルを下る。 ● 第二段（今回申請する次年度企画）：週末等を利用してお米作りをしてみたい家族等に、除草剤不使用、農薬散布なし、有機或いは減化学肥料を条件に圃場を提供し、自分達が食べる「安全なお米」を実際に作ってもらおう企画。 お米を収穫することはもちろん、週末の小規模な就農生活の中で、中山間地での暮らしや、安全なお米の自給や、地域の保全について、実体験の中で感じ取ってもらう。 ● 第三段（次々年度企画）：上記企画に参加される家族等との交流施設として近隣の空き家を借受け、気兼ねなく休憩できる場所として整備し、関係人口の定着化を図り、子供たちの声が聞こえる活気ある賑やかな地域としたい。 将来的には、宴会・宿泊・研修ができる拠点施設として維持・管理したい。									
☒ 社会的背景や地域の現状を踏まえて、プロジェクトの必要性や目的など記載してください。										
③実施場所及び 効果の及ぶエリア	実 施 場 所	世羅町大字別迫1960番地周辺								
	効果の及ぶエリア	播反地区								
☒ 具体的な施設整備やイベントを行う場所の分かる地図・写真を添付してください。 ☒ 必ずしも町内で実施する必要はありませんが、効果が町内に及ぶことが必要です。										
④実施予定期間 及びスケジュール	令和8年4月1日 ～ 令和9年2月28日 <table border="1"> <tr> <td>4月～6月</td> <td>代かき等の圃場準備、田植え、除草</td> </tr> <tr> <td>7月～9月</td> <td>畦草刈り、稲刈り・天日干し、脱穀、収穫祭</td> </tr> <tr> <td>10月～12月</td> <td>田起し等の圃場整備、感謝祭</td> </tr> <tr> <td>1月～2月</td> <td>用水路・山際伐採等の圃場整備</td> </tr> </table>		4月～6月	代かき等の圃場準備、田植え、除草	7月～9月	畦草刈り、稲刈り・天日干し、脱穀、収穫祭	10月～12月	田起し等の圃場整備、感謝祭	1月～2月	用水路・山際伐採等の圃場整備
4月～6月	代かき等の圃場準備、田植え、除草									
7月～9月	畦草刈り、稲刈り・天日干し、脱穀、収穫祭									
10月～12月	田起し等の圃場整備、感謝祭									
1月～2月	用水路・山際伐採等の圃場整備									
☒ プロジェクトの実施年度は申請年度の翌年度になります。 ☒ 概ね四半期毎のスケジュールを記載してください。 ☒ 2月末までの事業完了・実績報告が必須となります。										
⑤実施内容	今年度の企画「みんなで…」に参加されている方々や、実家を離れて暮らす地域の子供等家族を対象に本企画を案内し参加者を募る。 主対象は小さな子供連れの家族等で、週末に、小規模な圃場で、安全なお米を、実際にそれぞれが責任を持って作ってみるもの。 単に、田植えや稲刈りといった単発的なイベントのみではなく、田起し等圃場の準備から始まり、収穫までの草取り・草刈り等々も自分達の圃場として実体験してもらう。 それぞれの活動は農園便り等で発信し参加者の拡充を図る。									
☒ 具体的な建物、モニュメント等の施設整備内容やイベント等の開催内容などを記載してください。 ☒ プロジェクトの進め方や実施方法（活動地域・対象者）など、確実な実施ができるかも記載してください。 ☒ プロジェクトへの地域の住民・企業等の参画の度合いなど、地域を巻き込む取組みを記載してください。 ☒ プロジェクトのアピールポイント（活動の独創性・工夫している点・熱意）なども記載してください。										
⑥プロジェクト実施 翌年度以降の取組み	お米作りは続きます。安心なお米づくりを希望される方に耕作放棄が予想される圃場を斡旋し、作付け単位の拡大を図る。 併せて、近隣の古民家を借受け、休憩等何時でも軽易に利用できる場所として修繕し、将来的には、宿泊・研修できる拠点施設として整備し、地域住民との交流機会の場所としても拡充を図りたい。									
☒ 整備した施設等の活用方法や、イベントや取組みなどの翌年度以降の継続性を記載してください。 ☒ 自立的な活動の継続が期待できる取組みかどうかポイントとなります。										

⑦実施効果	・高齢化等による離農者の農地を借受け、耕作放棄地の拡大を防ぐ。 ・年間をとおした企画として、関係人口の繋ぎ止めを図る。 ・農薬・化学肥料の使用を抑えた、河川上流の小さな圃場でこそ可能な取り組みであり、同様地域の先例となる。 ・水資源や環境の保全、子供達の食育教育にも寄与できる。
☒地域の課題解決につながる効果を具体的に記載してください。 ☒町内の他の地域への波及効果も記載してください。 ☒町の魅力を町外に広く発信するなど町外への効果もあれば記載してください。 ☒団体等の利益が発生する場合には、地域の利益が上回ることを具体的に記載してください。	

3. 収支予算

【①支出】

区 分	内 訳	金 額
備品購入費	手押し除草機 × 5	181,000
原材料費	手作りチェーン除草機 × 3	16,767
消耗品費	塩ビ接着ボンド等	2,233
合 計		(a) 200,000

【②収入】

(補助対象経費算出)

区 分	内 訳	金 額
		(b)
補助対象経費	(a) - (b)	(c) 200,000

(目標金額) *目標金額は補助金申請額で、補助金の上限となる額です。

区 分	内 訳	金 額
目標金額 (補助金申請額)		200,000
自己資金 (会費など)		
その他 (寄付、利息など)		
合 計		(c) 200,000

(成立金額) *成立金額はプロジェクトの実施に最低限必要な金額で、下回った場合には補助金は交付しません。

区 分	内 訳	金 額
成立金額		100,000
自己資金 (会費など)		100,000
その他 (寄付、利息など)		
合 計		(d') 200,000

☒参加費を徴収するイベントなどは参加費相当額を補助対象経費から除きます。ただし、参加費相当額を確認するため、支出には参加費相当額も含めた金額を記載してください。

☒「区分」の欄には、講師等謝金、旅費、印刷製本費、委託料、備品購入費などを記載してください。

☒「内訳」の欄には、収入及び支出毎の概要 (積算根拠など) を記載してください。

☒金額の根拠となる書類 (カタログ、見積書等) を添付してください。

☐建物の整備などの場合は、図面を添付してください。

☒目標金額、成立金額は20万円以上1000万円以下の範囲で、千円単位で記入してください。

☒ (c) と (d)・(d') は、必ず一致させてください。

☒本様式を元気に地域づくり応援事業補助金交付要綱第6条に基づく補助金交付申請の際に使用する場合は、(成立金額)の表への記入は不要です。

4. 確認事項 (次の事項を確認し、☒してください)

☒① 元気に地域づくり応援事業補助金交付要綱ならびに元気に地域づくり応援事業補助金申請要項の内容を順守したうえで、本申請を行います。

☒②「元気に地域づくり応援事業プロジェクト認定申請書」並びに添付書類の記載内容は真実であり、虚偽の内容はありません。

☒③ 個人情報について次の事項に同意します。

・申請書、変更申請書、実績報告書および添付した資料に記載されている事項は、当事業の運営に必要な

範囲で、審査会委員や世羅町が取得・利用すること、また、ふるさと納税の募集や結果を公表するため、これらの情報が世羅町ホームページ等に公開され、マスコミ等一般に公開されること。

- ・公開審査会の際に、提出された書類を基に作成した申請内容要約書を一般に配布すること。

☒④ 申請内容について、詳細な情報・資料を求められた場合は提供します。

☒⑤ 各種法令等を遵守し、申請内容を必ず実施します。申請したプロジェクトが成立したにも関わらず、事業を実施しなかった場合は、成立通知書を受け取った日の属する町の会計年度及び翌会計年度にこの補助金の申請をすることができないことを了承のうえ、申請します。

☒⑤ 本事業により整備した施設等の財産は適正に管理します。また、整備後5年間は、補助目的・申請内容に沿って使用します。

上記の点、確認しました。

団体住所 世羅町別迫1960

団体名 週末小規模就農生活を楽しむ隊

代表者氏名 岸 浩 伸



・個人情報の保護に関する法律(平成15年5月30日法律第57号)に基づき、申請者の個人情報は本事業を遂行するために必要な範囲に限定して利用します。

【自由記述】プロジェクトに対する意気込みなど、自由にご記入ください。

将来の目標は、自分や家族が食べる主食(お米)を作ってみたいと思っている方々に、週末就農生活をご提案し、関係人口の増加を図り地域を元気にして頂きたいと思っています。

そのための第一段として、みんなでモチ苗を田植えし、稲刈り・天日干しし、脱穀・精米して、最後に、石臼でお餅つきをしながら飲んで語って収穫に感謝するイベントを今年度実施中で、今のところモチ米は順調に育っています。

今回申請する第二段企画は、実際に自分たちが食べるお米を作ってみよう！というもので、現在2組の家族等が実際に検証を兼ねて取り組まれています。

大型機械化とかスマート農業化とかには逆行し、収量もさほど期待できませんが、過疎化が進む小さな田圃だからこそできる、こだわりのお米作りを、みんなで楽しみましょう。

◎最後にチェックしてください。申請書類・添付書類に漏れはありませんか？

☒	内容(【必須】となっているものは必ず提出が必要)	公開・非公開
☒	【必須】元気な地域づくり応援事業プロジェクト認定申請書(様式第1号)	公開
☒	【必須】事業計画及び収支予算書(様式第2号)	加工公開
☒	【必須】団体の規約又は定款	公開
☒	【必須】事業位置図・事業実施場所写真	加工公開
☒	【必須】団体の構成員名簿	非公開
☒	【必須】団体の決算書・総会資料	非公開
☒	【必須】見積書(又は設計書)	非公開
☐	図面(施設整備が伴う場合は必須)	公開

*公開とされているものはホームページで公開します。加工公開とされているものは、一部加工したうえで公開します。

*著作権等のため、公開としているものも加工することがあります。

*申請者が希望された場合、非公開としているものも加工のうえ公開する場合があります。

*書類は可能な限り電子データでも提出してください。

*書類は公開審査会でコピーを配布する場合があります。